

柔道昇段試験受験申込書

富山県柔道連盟会長 殿

◎ 年月日は西暦で記入してください。

1、受験地 富山（富山武道館）	2、受験段位 段
3、所属団体（学校）名	
氏名のフリガナ	
4、受験者氏名 （男女）（○で囲む）	
5、生年月日（西暦） 年 月 日生	6、満年齢 才
（〒 - ） 7、現住所 富山県	Tel. （ ） 8、本籍（都道府県）
9、全日本柔道連盟登録ID	5
10、講道館番号（弐段以上記載）	
11、実技免除の資格を有している者は此処に記載の事。	
12、身長（ cm） 体重（ kg）	
13、今回での受験回数 回 最終受験年月日 20 年 月 日	
14、過去の成績は（2年以内のもの）（形）合・否（実技）合・否（該当の部分を○で囲む） （形の合格の有効期間は2年間のため合否は2年以内のもの）	
15、過去の審査会の成績（勝引分）	
(1) 20 年 月 日 場所	会 場 勝 負 引分
(2) 20 年 月 日 場所	会 場 勝 負 引分
(3) 20 年 月 日 場所	会 場 勝 負 引分
(4) 20 年 月 日 場所	会 場 勝 負 引分
16、形の相手名(所属名) （ ） 受験者・相手のみの者(○で囲む) 住所(〒 -) 生年月日(西暦) 年 月 日生 年齢() 性別(男女)(○で囲む) 参加者全員が傷害保険に加入しますので形の相手のみの参加者も傷害保険200円を持参ください。	
17、弐段以上の受験者のみ記入のこと	
(1)入 門 年 月 日 年 月 日	
(2)現段位 昇段年月日 年 月 日	
(3)経過年数(受験月まで) 現段位昇段後 年 月	
(4)現段位の推薦団体名 柔道連盟	
(5)講道館番号(現段昇段証書に付いているカードの番号)を9、欄に記載	
講道館柔道修行の諸規定を遵守し、受験申し込みをいたします。 (西暦) 年 月 日	
受験者氏名 Ⓜ	
監督又は保護者氏名 Ⓜ	

受験者は、後日必要事項不明等で連絡することが有りますので**必ず連絡先(電話番号)を記入のこと**。前段受験時の氏名の字を変えたい時(例・渡辺→渡邊)、家庭の事情などで苗字が変わった時は戸籍抄本、運転免許証、保険証、学生証等ことが分かる変わった書類を添付してください。形の受験者は学校に受験者がいない等の特別な事情がない限り受験者同士で受験してください。受験案内を参照ください。

※ 個人情報保護法により、昇段審査会以外には一切使用致しません。

柔道昇段試験受験申込書 書き方見本

富山県柔道連盟会長 殿

◎ 年月日は**西暦**で記入してください。

1、受験地 富山 (富山武道館)	2、受験段位 段																				
3、所属団体(学校)名 富山中学校																					
氏名のフリガナ トヤマ タロウ 必ず記載																					
4、受験者氏名 (男) (女) (○で囲む) 富山 太郎																					
5、生年月日 西暦で 2008年10月12日生																					
6、満年齢 才																					
7、現住所 富山県 郵便番号・電話番号(確実に連絡できる電話番号・携帯可)を必ず記載する事																					
8、本籍(都道府県) 富山県																					
9、全日本柔道連盟登録ID	5																				
10、講道館番号(三段以上記載)																					
11、実技免除の資格を有している者は此处に記載の事。平成〇〇年〇月国体予選 〇kg級2位など																					
12、身長 (cm) 体重 (kg)																					
13、今回での受験回数 回 必ず記載 最終受験年月日 20××年 月 日																					
14、過去の成績は(2年以内のもの)(形)合・否 (実技)合・否 (該当の部分を○で囲む) (形の合格の有効期間は2年間のため合否は2年以内もの)																					
15、過去の審査会の成績 (○勝) 必ず記載・書かないと勝ち点の計算時に不利となります。 特に今回、4回目受験で審議の対象となる可能性のある受験者は必ず記載の事。																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(1) 20 年 月 日 場所</td> <td>会場</td> <td>勝</td> <td>負</td> <td>引分</td> </tr> <tr> <td>(2) 20 年 月 日 場所</td> <td>会場</td> <td>勝</td> <td>負</td> <td>引分</td> </tr> <tr> <td>(3) 20 年 月 日 場所</td> <td>会場</td> <td>勝</td> <td>負</td> <td>引分</td> </tr> <tr> <td>(4) 20 年 月 日 場所</td> <td>会場</td> <td>勝</td> <td>負</td> <td>引分</td> </tr> </table> 正確に記載のこと。虚偽記載は受験当日及び過去の全ての点数を取り消します。		(1) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分	(2) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分	(3) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分	(4) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分
(1) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分																	
(2) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分																	
(3) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分																	
(4) 20 年 月 日 場所	会場	勝	負	引分																	
16、形の相手名(所属名) 必ず記載 () 受験者・相手のみの者(○で囲む) 住所(〒 -) 生年月日(西暦) 年 月 日生 年齢() 性別(男女) (○で囲む) 参加者全員が傷害保険に加入しますので形の相手のみの参加者も傷害保険200円を持参ください。																					
17、三段以上の受験者のみ記入のこと																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(1)入門年月日 西暦で</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>(2)現段位 昇段年月日 西暦で</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>(3)経過年数(受験月まで) 現段位昇段後</td> <td>年 月</td> </tr> <tr> <td>(4)現段位の推薦団体名</td> <td>柔道連盟</td> </tr> <tr> <td>(5)講道館番号(現段昇段証書に付いているカードの番号)を</td> <td>9、欄に記載</td> </tr> </table>		(1)入門年月日 西暦で	年 月 日	(2)現段位 昇段年月日 西暦で	年 月 日	(3)経過年数(受験月まで) 現段位昇段後	年 月	(4)現段位の推薦団体名	柔道連盟	(5)講道館番号(現段昇段証書に付いているカードの番号)を	9、欄に記載										
(1)入門年月日 西暦で	年 月 日																				
(2)現段位 昇段年月日 西暦で	年 月 日																				
(3)経過年数(受験月まで) 現段位昇段後	年 月																				
(4)現段位の推薦団体名	柔道連盟																				
(5)講道館番号(現段昇段証書に付いているカードの番号)を	9、欄に記載																				
講道館柔道修行の諸規定を遵守し、受験申し込みをいたします。 20 年 月 日																					
受験者氏名 (印)																					
監督又は保護者氏名 (印)																					
前段受験時の氏名の字を変えたい時(例・渡辺→渡邊)、家庭の事情などで苗字が変わった時は戸籍抄本、運転免許証、保険証、学生証等ことが分かる書類を添付して申し出てください。																					

PCで出ない字は一般的な字で代用せず、必ず正しい字を手書きしてください。

「高」と「髙」、「崎」と「崎」、「吉」(上が「士」か「土」か)、「辺」「邊」「邊」、「齊」「齋」「齋」などの異体字、旧体字、略字が使われることが多い名前は、必ず本人に確認してから書類を作成してください。